

学びを深めるために

大槻奈巳さん
(聖心女子大学 人間関係学科 教授)

【プロフィール】

聖心女子大学人間関係学科教授、キャリアセンター長、社会学博士。専門は職業社会学、労働とジェンダー。主な著書は「職務格差～女性の活躍推進を阻む要因は何か」



あおもりウィメンズアカデミー地域女性リーダーコース修了生のみなさん、お元気でお過ごしですか。みなさんは、約半年間の充実した講座を受講されて、多くのことを学ばれたと思います。これからもみなさんは学び続けていかれるでしょうし、学びを支援する側になることも多いと思います。そんなみなさんに、学びを深めることについてお伝えしたいことがあります。

よりよく学び、学びを深めるためには何が必要なのでしょう。まずは、準備をすることです。例えば、テニスを習おうとするとき、自分に合ったラケットと靴とウェアを用意し、事前に柔軟体操をしてやる気があれば素ぶりをしませんか。自分にあった用具がないと、身体がほぐれていないとうまくプレイできないから準備が必要です。

みなさんは、学ぶときに事前の準備をしていますか。講座や研修を受講する時間を捻出するだけで、大変という状況はわかります。ただ、講座の研修の前にテーマや内容について、少しの時間でいいので自分なりに考えてみる、ちょっと調べてみる、ということを行うと、学びはぐっと深まります。自ら学ぶ能動的な学びになり、「やらされ感」もありません。10分間でも効果はあるので、是非やってみてください。また、うまく学べていないと思ったら、学ぶ準備や学び方が正しいかを見直すとよいです。テニスに例えるなら、自分にあった用具を身に着けているのか、練習方法は自分にあるのかを確認することです。

第二に、学ぶ気持ちを常にもつことも大切です。私たちは、いつからでも、なにからでも学ぶことができます。学びは日常生活の中にもあふれています。重要なことは自分がなにについて学び、なにを得たのかを意識することです。漠然と学んでいても学んだことを積み重ねていけません。学びの過程からなにを得たのかを意識し、それを自分のなかに積み重ねてください。この積み重ねによって、学んだ内容は自分のなかに、しっかりとした大きなひとつの体系となっていきます。そして、学びのなかで、疑問をもち自分で新たな問いをたてる、その答えを考えてみる、ということをやってみてください。学びは深まります。

最後に、学んだことをいかす「場」と「機会」を自分で作ってください。地域だったり、職場だったり、家族のなかだったり、友人関係であったり、さまざまだと思います。日本の女性の生涯学習の特徴として、学ぶことが目的になってしまっているとの指摘がありますが、みなさんはどうか、学ぶことをいかす「場」と「機会」を作り、社会をより良い方向に変えてください。また、地域のリーダーとして、みなさんが学びをいかすことのできる「場」と「機会」をぜひ作ってってください。

やり続けることはとても大切です。ぜひ生涯をとおして学び、自分を成長させ、社会を変革してください。修了生のみなさんはそれができる方たちだと思います。期待しております。